

# COMSOL Multiphysics®で作成した解析モデルを Windows®/Linux®/macOSの実行形式ファイルに変換

## 解析部門のエンジニアが配付用 アプリをデスクトップで作成

COMSOL  
COMPILER™

1. COMSOL Multiphysics®で解析モデルを作成。
2. **Application Builder** を利用して各部門向けの解析アプリをデスクトップで作成。
3. **COMSOL Compiler™**を利用し、Windows® / Linux® / macOS(いずれも 64bit 版) の実行形式ファイルに変換して**各部門へ無償配付可能**。
4. オフラインPC上で**ライセンス認証不要で実行可能**、配布先も自由に設定可能。(USB メモリ等の媒体でも配付可能)

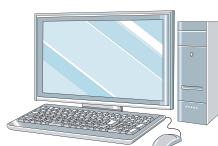


ネットワークと媒体、どちらの方法でも配付可能



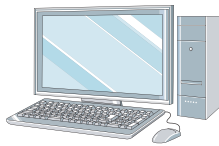
### 設計部門

設計変更の場合の、  
パラメータ確認と再  
計算が容易に。



### 応用研究部門

技術を応用した別製  
品の開発が容易に。



### 製品開発部門

製品のバリエー  
ション開発が容易に。



### 製造部門

製造上のパラメー  
タ変更が容易に。



### 協力社(社外)

製造上の情報  
確認が容易に。

COMSOL Compiler™を利用すると、COMSOL Multiphysics®のWindows®版に標準装備のApplication Builderを利用して解析モデルから作成したアプリを、Windows®、Linux®、macOSの実行形式ファイルに変換できます。COMSOL Compiler™のライセンスをCOMSOL Multiphysics®にアドオンとして追加すると、Application Builderに実行形式ファイル変換用のメニューが追加されます。

変換操作はたいへん簡単で、変換する対象のOSを選択し、実行形式ファイルの保存先を指定するだけです。オプションとして、実行形式ファイルの起動時に表示される「スプラッシュスクリーン(起動時に表示されるタイトル画像)」を追加できます。

変換された実行形式ファイルの配付と実行は自由に無償で行えます。また、実行時のライセンス認証も不要ですので、現在保有しているCOMSOL Multiphysics®のライセンス数には依存しません。配付はネットワーク経由のダウンロードと、CD/DVD/USBメモリなどの媒体による配布のいずれも可能です。

実行形式ファイルは各OSの任意のフォルダに配置でき、インストール操作は不要です。初回起動時に、ランタイムライブラリをユーザ領域に配置します。このランタイムライブラリは変換時のバージョン固有のものが配置されるので、異なったバージョンで変換された実行形式ファイルも同一PC上に混在して利用可能です。

COMSOL Server™との機能の違いは下表をご覧ください。

機能比較		
	COMSOL Server™	COMSOL Compiler™で作成した実行形式ファイル
設置環境	オンプレミス、クラウド いずれも可	オンプレミス
クラスタ環境での動作	○	×
アクセス権制御	○ サーバ側管理画面で制御	アプリのメソッドで 設定すれば可能 ・起動パスワード ・ハードウェアアドレス ・起動有効期限
インストール操作	不要	不要 初回起動時にランタイムライブラリ をユーザ領域に保存
バージョンアップ対応	○	×
Webブラウザ上での利用	○ WebGL対応ブラウザが必要	×
有償ライセンス	必要 サーバ側のみ	コンパイル環境には必要 配付と実行は無償で可能
利用機器	PC、タブレット	PC 計算負荷に応じたHPC機器を推奨
アプリの配付	ネットワーク経由	ダウンロードと CD/DVD/USB等の媒体配付 いずれも可
ネットワーク接続	必要	実行時は不要

※COMSOL Compiler™は、COMSOL Multiphysics®と共に使用する製品です。

※COMSOL Compiler™のライセンスは、1年間のタームライセンスです。

**KESCO KEISOKU ENGINEERING SYSTEM**  
**計測エンジニアリングシステム株式会社**

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-9-5 SF内神田ビル  
TEL:03-5282-7040 FAX:03-5282-0808  
<https://kesco.co.jp/service/comsol/>

●詳細なお問い合わせは、弊社または特約店へご連絡ください。